

令和 8 年 謹賀新年



福岡県労福協
理事長 吉村 淳治

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、労福協活動に対しまして「福祉は一つ」を合言葉に、それぞれの立場から温かいご支援・ご協力をいただいている、すべての仲間の皆さんに心から敬意を表し感謝申し上げます。

昨年年初は、穏やかな新年を迎えられ新たな年に良い期待を膨らませていましたが、2月から林野火災が立て続けに発生しその後も全国各地で自然災害が相次ぎました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、被災地支援にご尽力されている関係者の皆さんに深く敬意を表します。本年は大きな災害や事故が起きないことを祈念いたします。

さて、私たちは今、時代の大きな転換点に立たされています。

世界各地での戦争・紛争や自然災害の頻発・激甚化、先行き不透明な世界市場、国内では、超少子高齢・人口減少社会の加速、円安や急激な物価高などにより、社会の分断や持続性の危機が深刻化し将来不安が増えています。

今ほど、共助の大切さ、労働者自主福祉活動の意義と役割が高まっているときはありません。支えあい助け合う組織として、今まで以上に積極的に活動を展開していく決意です。

厳しい環境下での諸活動となりますが、誰一人取り残されることのない包摂的で持続可能な社会をめざし、「働く仲間・地域の笑顔、子どもたちの平和と安心、希望のために」ともに手を携え頑張りましょう。

結びに、関係者の皆様のご健勝とご活躍、今後の労福協活動への積極的なご参画をお願いし、年頭のご挨拶といたします。



福岡県知事
服部 誠太郎

新年あけましておめでとうございます。

福岡県労働者福祉協議会の皆さまにおかれましては、日ごろから県内労働者の皆さまの福祉向上にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

昨年、我が国は、米国の関税措置をはじめ、安全保障、外交、経済などの分野において、かつてなく厳しく、かつ混迷する国際情勢の中におかれまして。そのような中、県民の皆さまの命と健康、生活を守ることを第一とし、人口減少を背景にした人手不足や、賃金と物価の好循環の実現など、先送りできない社会課題に真正面から取り組んできました。

福岡県の未来を切り開き、担っていくのは「人」です。人を育て、人を惹きつけるまちをつくり、産業を育成して県民の皆さまが活躍できる働く場を広げ、安全・安心な暮らしと健全な環境を守ってまいります。

今年は午年です。本年も、午のように力強く飛躍・前進し、福岡県を九州・日本の発展を牽引する「雄県」に、誰もが笑顔で暮らせるふるさとにしていくという強い志を持ち、全力を尽くしてまいります。

新年が皆さまにとって、素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。



労働者福祉中央協議会
会長 芳野 友子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、7月に実施された第27回参議院選挙により、衆参両院で少数与党となる政治情勢となり、政局の構図が大きく変化しました。こうした政治情勢の中、食料品やエネルギーなど生活に直結する物価の上昇が続くなど、国民生活の厳しい状況は改善されていません。

労福協が進める「高等教育費負担の軽減」については、昨年3月に「大学等における修学の支援に関する法律」（大学等修学支援法）の改正が実現しました。しかし、支援対象は扶養する子が3人以上の多子世帯など一部の拡充に留まる結果となりました。高等教育への進学率が9割近くに上る中、同じ学生であっても支援を受けられる人と受けられない人が発生しており、学生間でも分断が生まれています。私たちには引き続き、教育の機会均等や奨学金制度の改善を通じて、誰もが安心して学ぶことのできる社会の実現に向けた取り組みが求められています。

また、協同組合運動の振興と労働者福祉運動の発展に向けた取り組みとして、昨年は2025国際協同組合年を記念して労働団体・事業団体・地方労福協はもちろんのこと、地域の様々なネットワークとの連携を推進してきました。本年も引き続き、お互いを支え合い助け合う、地域共生社会の実現をめざす取り組みとして、具体的な対応を進めていきます。

今、私たちはめまぐるしく変化する社会に生きています。しかし、社会がいかに変化しようとも、労福協の理念である「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくる」ことは変わりません。私たちは、本年も「福祉はひとつ」の思いの下、社会的な連帯と共助の輪を広げ、労働者福祉の取り組みを力強く展開していくことをお誓い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



九州労働金庫福岡県本部
本部長 西村 芳樹

新年明けましておめでとうございます。日頃より九州労働金庫の事業推進にあたり、皆様方のご理解とご支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。

昨年は九州労金として預金残高の減少が、一昨年に引き続き継続し大変厳しい1年となりました。この傾向はこの先も引き続くことが予想されることから労金業態全体として考えていく必要があると思われます。また、2030年のオンラインシステム更改対応についても総会において提起させていただき、会員の皆さんへ具体的な協力をスタートさせて頂きました。趣旨をご理解頂きご協力に感謝を申し上げます。

今年も円安やトランプ関税の影響で物価の高騰は続くと思われます。そのような時代において、労福協に加盟する労金として賃上げの影響が及ばないはたらく方々に対して、どのように寄り添っていくことができるのかを考えていくことが重要だと感じています。

最後になりますが、はたらく人にとってもっとも身近な金融機関として、会員との連携を深めて、組合員の生活設計・生活改善・生活防衛のとりくみを推進し、会員と協働した「しあわせ創造運動」を積極的に展開し、福祉金融機関としての社会貢献活動を展開していきます。

2026年が会員、組合員およびご家族のみなさん、そしてすべてのはたらく人にとって良い年になることを祈念申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。



こくみん共済 coop
福岡推進本部
本部長 藤田 桂三

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、こくみん共済 coop福岡推進本部の事業推進と「たすけあいの輪」の拡大に向けて、日頃より温かいご理解・ご協力をいただいていますことに厚くお礼申し上げます。

昨年も全国各地で、自然災害や大規模火災などが相次ぎました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地支援にご尽力されている関係者の皆様に深く敬意を表します。私どもこくみん共済 coopは、これまでもそしてこれからも日常的な備えを推進し、もしもの時には「最後のお一人まで」を合言葉にその使命と責任を全うしていく所存です。

私たちは、「支えあいたすけあいの共済事業（＝生活協同組合）」として、今後も働く仲間や生活者、地域に寄り添い、様々な環境の変化に対応しながら、万が一の大きな保障と可処分所得の向上など、生活の安定と改善の一助となれるよう本年も積極的に事業を展開してまいります。

また、しあわせと安心をお届けできる持続可能な組織として、あらためてめざす姿とその道筋を明確にしていけるよう、皆様との率直な意見交換と心合わせのもと一緒に明るい未来を切り拓いていきたいと考えます。

結びに、本年が皆様にとって、笑顔あふれる幸多き一年になりますことをご祈念申しあげ、年頭のご挨拶といたします。



福岡県生活協同組合連合会
会長理事 堤 新吾

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、福岡県生協連並びに会員生協の事業・活動へのご理解、ご協力に心より感謝申し上げます。

昨年は、国際協同組合年（IYC）の再制定を受け、協同組合の価値や役割を改めて社会に広く伝える一年となりました。私たち福岡県生協連も、JA中央会とともに服部知事を表敬訪問し、協同組合が地域社会に果たす役割や「助け合いの力」の重要性について直接ご案内する機会をいただきました。行政との連携を深めることで、地域に根ざした協同の輪をさらに広げていきたいと考えております。

一方で、昨年は6月から11月初旬まで続いた異例の猛暑が、私たちの生活や事業活動に大きな影響を及ぼしました。長期にわたる高温は農畜産物の生育に深刻な打撃を与え、米不足や玉子などの高騰と継続した物価上昇で、食の安定供給にも不安をもたらしました。生協として、被害にあわれた生産者支援や生活支援に引き続き力を尽くしてまいります。

また、生活不安、格差の拡大など、依然として厳しい状況が続いております。こうした中で、フードバンク活動や生活支援事業、奨学金事業など、社会貢献活動を一層充実させ、誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。

2026年は、協同組合の価値を社会に根付かせるための新たな挑戦の年です。各分野の協同組合のみなさまと連携し、地域に暮らす人々の生活を支える組織として、共に歩みを進めてまいります。

本年が、皆さまにとって幸多き一年となりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



北九州総合労働会館
理事長 清田 博巳

新年、明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、真鶴会館の運営に対しまして、格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、年末・年始におかれましても、昼夜を問わず業務に精励されています皆様方に対し、心より敬意を表しますとともに感謝いたします。

昨年は、梅雨も短く、全国各地で、40度超を記録するなど、大変な猛暑・酷暑となりました。このような中、8月8日から12日にかけて、鹿児島・熊本・福岡を中心に、複数の線状降水帯が発生し、河川の氾濫・土砂災害・床下・床上浸水などの豪雨災害が発生しました。8月23日には、台風12号が鹿児島に上陸、9月には、15号が宮崎・大分・四国・中部・関東を縦断し、記録的な大雨により、日本各地で、災害の傷跡が残されました。被災された方々に対しまして、お悔やみとお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興

を心より願っております。

今年も、防災・減災の意識を高め、いつ来るか分からない自然災害に対応できるよう、日頃からの備えが大切です。

さて、会館の利用状況につきましては、カルチャー講座に新たに「アルゼンチンタンゴ」を開設し好評を頂き、会議室・貸しホールについても新規の利用者が増加しました。また、昨年6月に英語教室が3階空室へ新規で入居し、また、12月には、1階の喫茶「うめの木」の跡に「コーヒー店」が入居し、順調に推移しています。一方では、原材料価格や工事費の高騰や光熱費をはじめとした多くの品目の値上げなど厳しい状況になることが予想されます。

今後は、1階の中ホールと空き貸事務所への新規テナント入居募集や、貸会議室・貸しホールの更なる利用促進を図ると共に、より一層の経費削減に努めることが求められます。

本年も、関係各所と連携を図り、各会員団体のご協力を得ながら、役員一同健全運営に向けて努力して参ります。今後も、真鶴会館に対しましてご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、真鶴会館に入居頂いておりますテナントの皆さまと会員ならびにご家族の皆さまの、ご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



会 長 本 間 大 介
事務局長 平 田 貢一郎
職 員 田 中 友里菜



午

令和八年 元旦

職	監												理	專務理事	副理事長	副理事長	理事長	
員	事	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	事	事	長	長	長	
小森田紀子	松本竹子	郡美津子	中原紀明	平田貢一郎	樋口孝司	金光千春	本田賢治	遠藤禎幸	中山啓一	清田博巳	堤新吾	日高靖人	神尾浩二	志柿敏隆	本村隆幸	藤田桂三	西村芳樹	吉村淳治

一般社団法人
福岡県労働者福祉協議会 役職員



一般社団法人 福岡県労働者福祉協議会

〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル2階

TEL 092-263-3141 FAX 092-263-3121

[ホームページ] <http://fukuoka.rofuku.net/> [メールアドレス] roufuku@h8.dion.ne.jp

ろうふく協 NEWS
vol.200

発行 2026年1月5日

発行人 吉村 淳治

編 集 本 村 隆 幸